

埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援
ボランティア
おすすめ！
読み聞かせブックリスト

仲間と楽しく 笑いあう本

～ゆかいで笑える絵本～



クイズのようなやりとりを楽しめたり、言葉あそびや思わず笑ってしまう展開があったり…おはなし会ではじめて会った人どうしても、一緒にくすつと（もしくはゲラゲラと?!）笑って楽しめる、そんな絵本をご紹介します。

おはなし会の導入や、少し長めのお話を読んだ後の息抜きにもぴったりです。

※読み聞かせにかかる時間は目安です。

低学年向け

ダレ・ダレ・ダレダ



越野民雄 文
高島純 絵
講談社 (3分)

内容

動物たちのシルエットのみで、そこにいる動物たちを当てる参加型の絵本です。作品内の動物たちが「〇〇しているオレ（わたし）はだれよ」と、ページをめくる度に聞いてきます。

読み聞かせおすすめポイント

登場する動物たちの「オレ（わたし）」はだれよ」という問いかけで、絵本を聞いている子どもたちとのやり取りを楽しめます。4～5歳から小学校中学年くらいまでを対象に、おはなし会の導入や時間が少し余りそうな時によく使います。

ぼくちカレーライス



つちだのぶこ 作
佼成出版社 (4分)

内容

ぼくカレーライス食べなくなっちゃって、みんなに教えたら、八百屋さんも肉屋さんもうらのおばあちゃんもみんなカレーライスたべなくなっちゃって…。リズムカルなことばで進む、カレーライス愛に満ちた絵本です。

読み聞かせおすすめポイント

どこまでも広がるカレーの香りを感じる絵本。みんながカレーライスで一つになれると言ったら大げさでしょうか(笑)かわいい絵のあちこちに他ページとのつながりが隠れていて、それをじっくり見つけるのも楽しい！読み聞かせのあとは、手にとって自分で読んでみてねっておすすめします。

ボランティアおすすめプログラム例

『ダレ・ダレ・ダレダ』

小学校1年生向けに
朝読で行った
プログラムです。

- ・絵本『みかんのひみつ』（岩間史朗 写真撮影 鈴木伸一 監修 ひさかたチャイルド）
- ・絵本『ダレ・ダレ・ダレダ』
- ・絵本『しーらんべったん』（中川ひろたか 文 藤本ともひこ 絵 世界文化社）

中学年向け

きょうはみんなでクマがりだ



マイケル・ローゼン 再話
ヘレン・オクセンバリー 絵
山口文生 訳
評論社 (5分)

内容

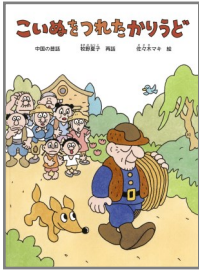
家族5人と犬一匹でクマがりにてかけます。草むらを抜け、川を越え、森を通り、ふぶきにもめげず進むとほら穴があって、そしてそこにはおそろしいクマが！もと来た道を目散に逃げる逃げる、そして無事に帰ると…

リズムカルな繰り返しとオノマトペが楽しい、イギリスの遊び歌が元になった絵本です。

読み聞かせおすすめポイント

繰り返しの部分は歌にのせて、オノマトペは身振り手振りを加えて参加型にしても楽しめます。

こいぬをつれたかりうど 中国の昔話



牧野夏子 再話
佐々木マキ 絵
福音館書店 (6分)

内容

かりにいくと、かならず獲物をとってくるうでのいいかりうどがいました。なぜか鉄砲を持たず、代わりにロープとかわいい子犬を連れていきます。その子犬はいつもごま油を与えられ、ごま油で拭かれ、つるつる。ある時、かりうどは、遠い村のトラを退治して欲しいと頼まれます。やはり鉄砲を持たずに向かい、ロープと子犬で、多数のトラをひとまとめにしてしまいます。中国の昔話です。

読み聞かせおすすめポイント

うでのいいかりうどが、いかにも大男ではなく、鉄砲も持たないおとしより、というところに、意外性があります。さらに、子犬の活躍には、子どもたちが笑っていました。「ぱくり、するり、つるん」のところはリズムよく読みましょう。「ごま油」を知らない子どもがいるかもしれませんが、お話が面白いので大丈夫です。

ボランティアおすすめプログラム例

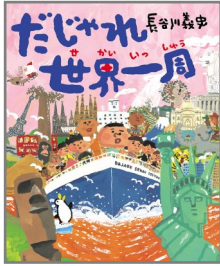
『こいぬをつれたかりうど』

- ・絵本『かみなり』（妹尾堅一郎 監修 ポプラ社）
- ・絵本『た』（田島征三 作 佼成出版社）
- ・絵本『こいぬをつれたかりうど』

林間学校前に
5年生を対象に行った
プログラムです。

高学年向け

だじゃれ世界一周



長谷川義史 作
理論社 (5分)

内容

「だじゃれでえがおがアルメニア！せかいなかよくシンガポール！」から始まり、世界の国々をだじゃれで巡ります。

読み聞かせおすすめポイント

学年に関係なく楽しめますが、ある程度世界の国のことを理解できる中学年以上にオススメです。読み聞かせを行う時は、各ページに紹介されている国々をいかに楽しく回していくかが大切なので、事前によく練習しましょう。

読み聞かせを行なった小学校には中国・モンゴル・ベトナム国籍の子どもたちがおり、自分たちの祖国がだじゃれで紹介されていたことで、とても盛り上がりました。

2ひきのカエル そのぼうきれ、どうすんだ？



クリス・ウォーメル 作・絵
はたこうしろう 訳
徳間書店 (7分)

内容

大きな池の真ん中で、危険に備えてぼうきれを持った心配性なカエルを、楽観的なカエルが笑います。笑った拍子に睡蓮の葉から池にボチャン！そのとき、2ひきのカエルに本当の危機がせまります。2ひきのカエルのかけあいがなんとも愉快的な絵本です。

読み聞かせおすすめポイント

絵には迫力があり、遠目がききます。ただし、最後のページの赤いボールを口に入れたカワカマスの絵は小さいので、ゆっくり見せてあげてください。

危険が迫ったシーンでは、緩急をつけて読んで！

ボランティアおすすめプログラム例

『だじゃれ世界一周』

学童のおはなし会で
中学年を対象に
したプログラム
です。

- ・大型絵本『だじゃれ世界一周』
- ・紙芝居『うばすて山』（岩崎京子 脚本 長野ヒデ子 絵 童心社）
- ・絵本『クマよ』（星野道夫 文・写真 福音館書店）

編集発行 埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア
発行 令和8年3月
〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5 TEL 0480(21)2659



他のテーマの読み聞かせ
ブックリストはこちら
から。